



と市政に参加する 1000人の会 NEWS

発行 吉野信次と市政に参加する1000人の会
 住所 松戸市新松戸3-137松栄ビル3階 松戸住民ひろば内
 電話・ファックス 047-349-2132 E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp
 郵便振替口座 00130-0-76000 http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo/

行くな！殺すな！死ぬな自衛隊！ イラク派兵にNO！

12月にもイラクに自衛隊を派兵しようという動きが加速しています。福田官房長官は、12日の記者会見で「年内に派遣するという考えはしっかり持っている」と明言しましたが、イラク復興特別措置法での自衛隊の活動領域は「非戦闘地域」に限定されています。ところが、イラク情勢は日々悪化し、『戦闘地域』と『非戦闘地域』を明確に区別することは困難だと、全土が戦場化・戦争状態になっていることをアーミテージ米國務副長官やイラク駐留米軍のサンチェス司令官さえ認めています。

「集団的自衛権の行使」は憲法違反だ！

自衛隊のイラク派兵には、派兵後の自衛隊の活動が憲法で禁じられている「集団的自衛権の行使」に相当しないのか、という問題があります。「自衛権」とは、他国から攻撃された際に反撃する権利です。「集団的自衛権」は、同盟国が攻撃された際、自国への攻撃と同等と見なして反撃する権利です。米国は、イラクが大量破壊兵器を所有し、米国の安全を脅かしているとして、攻撃を受ける前に先制攻撃をおこないました。大量破壊兵器は見つからず、「情報操作」が大きな問題にもなっています。自衛権の行使どころか、侵略的攻撃・侵略戦争です。侵略戦争に加担する自衛隊の派兵は、憲法で禁じられている「集団的自衛権」の行使にほかなりません。

●今こそ国民的な論議を！

イラク復興特別措置法は、国連安保理決議に基づき「多国籍軍による治安維持活動の後方支援をする」としています。全土が戦場化している中での米軍の後方支援は、武力行使にほかなりません。後方支援なき戦闘などなく、後方支援は軍内部の一役割に過ぎません。イラク戦争は、泥沼化する可能性があります。自衛隊の派兵を「復興支援だ」と考えても、イラクの国民はもとより、米国や他の国々も「日本は集団的自衛権の行使に踏



み出した」との認識をするでしょう。自衛隊員に死者が出たらどうするのか、行方不明や捕虜になったら、イラク人を死傷させたらどうするのか。いつまで派兵を続けるのか。私たち国民

は、今回の総選挙で何も問われていませんし、イラク支援基本計画なども詳細に知らされていません。日本国憲法の3つの柱は、基本的人権の尊重、国民主権、戦争放棄です。平和憲法の根幹に関わるイラク派兵を、国民的な論議もなく決定することは、民主主義のあり方を根本から否定することになります。イラク派兵の全情報を国民に開示して、国民的な議論をする時です。今こそ、「行くな、殺すな、死ぬな自衛隊」「イラク派兵NO！」の声を、小泉首相に届けましょう。



自衛隊はイラクへ行くな、殺すな、死ぬな松戸市民集会&ピースパレード

- ★ 日時／11月29日(土)PM2～4 ★
- ★ 場所／松戸駅西口公園 ★
- ★ 主催／ストップ！有事法制松戸市民ネットワーク ★
- ★ 連絡先／047-341-0126 (今川) ★

松戸版「教育改革」は、いったん凍結を！！

生徒、保護者、地域住民が納得できるプランづくりを！

9月22日に発表された松戸版「教育改革」3プランには、多くの市民が「なぜ今、学校選択制と統廃合か？」と多くの疑問を持たれています。特に、統廃合予定とされた8校(新松戸北小と新松戸西小、古ヶ崎南小と古ヶ崎小、根木内東小と根木内小、新松戸北中と小金中)の保護者や、来年4月に小学校に入学される幼稚園・保育所の保護者は、学校選択制が強行されれば、統廃合が加速されると、危機感を募らせています。

●「行財政改革」と「教育改革」は一体のもの！

今回、拙速に打ち出された松戸版「教育改革」は、松戸市の「行財政改革」の一環としての役割を持っています。松戸市は、今年度から5ヶ年計画のまちづくりとして『第2次実施計画』をスタートさせています。しかし盛られた事業を遂行するためには、200億円余の歳入不足が予想されます。そのために、各事業本部などが、事業の見直しをはかります。教育委員会がある生涯学習本部では、19億4000万円余の見直し(案)が求められて、その対象に「教育改革」3プランも含まれています。新松戸3校の教育委員会説明会では、廃校される学校の跡地利用問題が、大きく取り上げられました。各保護者が「廃校後の跡地を売却する考えではないか」と厳しく問いかけましたが、教育長は「そのような考えはない。跡地については、まちづくりの一環として、早期に関係する地域住民等で跡地利用の

検討会を立ち上げた」と答弁していました。保護者を納得させるための答弁でしょうが、この約束が「空手形」にならないように保護者や地域住民の監視と提案が重要になってきます。

得できていません。どの会場からも「私たちが納得できる答弁をして欲しい」との要望が出されています。

地方分権、住民自治が強調され、行政と市民のパートナーシップ、協働のまちづくりが求められている時に、この「教育改革」は、こうした流れに逆行した提案になっています。教育委員会の提案を黙って、了解・支持しなさい。市民参画の「教育改革」などは、許されません、と言っています。このような教育委員会の態度では、分権型の松戸らしい「教育改革」は生まれてきません。教育委員会は、児童・生徒、保護者や地域住民を信頼して、共に「教育改革」(案)を作り出す方向に舵取りをする時です。**そのためには、決定・提案された松戸版「教育改革」3プランを、いったん凍結にして、互いに信頼ができる話し合いの場を作り直す必要性があります。**この問題の対応は、今後の松戸市のまちづくりにとって、大きな試金石になります。

児童や生徒、保護者や地域住民のみなさん、ここで諦めたら、この松戸市の市民参画・市民関与のまちづくりは、大きく後退します。諦めずに、市民の声を教育委員会が受け止めるまで、凍結の声を上げていきましょう。

松戸市議会 12月定例会の予定

★★ 傍聴大歓迎 ★★

- ★ 11/21(金) 請願・陳情提出期限(正午) ★
- ★ 12/3(水) 定例会招集日 ★
- ★ 12/4(木)～9(火) 本会議(一般質問) ★
- ★ 12/11(木) 常任委員会(総務財務、健康福祉) ★
- ★ 12/12(金) 常任委員会(教育経済、都市整備) ★
- ★ 12/16(火) 本会議(最終日) ★

● 十分な論議、信頼できる関係性の中でプランづくりを！

あまりにも拙速な提案のため、8校の説明会では、どこでもこのプランを支持する発言はありませんでした。問答無用の提案、十分に煮詰められたプランではないために、全ての保護者が、説明や答弁に疑問を持ち、納

